

学習指導要領	葛飾総合高校 学カスタンダード
(1) 世界史へのいざない ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。 イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。	・「世界史へのいざない」は主題を選択して行ない、世界史学習への導入とする部分である。その趣旨に従い、開始当初では「ア 自然環境と歴史」の主題を選択し、生徒が地理的視点の重要性に気付く。 ・教科書及び副教材の表紙ページにある世界地図及び世界の気候風土の写真を、細かく観察する。 ・教科書の地図を短時間でノートに書き写す方法を発問され、最終的に三角形で描くという方法に気付く。次に実際の三角形地図を描き、海洋名・大陸名を発問され正しい地名に気付く。 ・「日本列島の中の世界の歴史」については、個々の歴史授業の中で同時代の世界史的事例と日本史的事例を対照し、興味関心を惹き付けるとともに世界と日本のつながりに気付く。 ・歴史学習で重要基本事項である年代について、西暦の成立と紀元前（BC）・紀元後（AD）の呼称および100年単位の世紀（C）を、確実に記憶する。 ・人類の進化、農耕と牧畜の開始、文明の誕生などを概略的に理解する。

学習指導要領	葛飾総合高校 学カスタンダード
ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。	[産業革命と資本主義の確立] - 産業革命と資本主義の確立について、世界史的な視野でとらえさせ、経済や社会の変化を理解する。 - 資本家・労働者が形成され、労働や社会生活の在り方が変化し、労働運動や社会主義思想が成立したことを理解する。 [フランス革命とアメリカ諸国の独立] - アメリカ合衆国の独立とフランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立を通して、大西洋世界で起こった一連の政治的変動を理解する。 [自由主義・国民主義の進展] - ウィーン体制下で自由主義・国民主義が高まりをみせ、19 世紀後半にはイタリア・ドイツなどで国民国家が形成されたことを理解する。 [アメリカ合衆国の発展] - アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧がこの国の国民形成に独自の性格を与えるとともに、南北戦争後の産業資本家が主導した工業化の進展について理解する。
エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19 世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。	[アジア諸国の変貌] 18 世紀後半から 19 世紀までのアジア諸国の支配体制の動揺と、ヨーロッパ諸国の進出により伝統的な国家体制や貿易構造の変化が引き起こされたことを理解する。 18 世紀後半から 19 世紀までのアジアの諸帝国の動揺と伝統文化の変容などに触れ、それに対する社会変革へのアジアの主体的な動きについて理解する。 [日本の開国と近代化] - 日本の近代化の過程について、他のアジア諸国との関係など、世界の歴史の中での日本の位置付けを理解する。

学習指導要領	葛飾総合高校 学カスタンダード
(3) ア 急変する人類社会 地球社会と日本 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19 世紀後期から 20 世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。 イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19 世紀後期から 20 世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。	[第二次産業革命] ・第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達とそれに伴う産業構造の変化，企業や国家の巨大化，国家の役割増大による国民統合の進展を理解する。 [国際的な移民の増加] ・ヨーロッパから南北アメリカやオセアニアへの大規模な移住，中国や南アジアから大量の移民労働者の供給について理解する。 [大衆社会の出現] ・大量生産・大量消費社会の登場による社会の大衆化の過程で変容した政治や文化について理解する。 [帝国主義] ・欧米の帝国主義諸国が植民地獲得や勢力圏拡大の抗争を繰り広げ，一方で日本を含むアジア・アフリカ諸国ではナショナリズムが高揚していく意義を理解する。 [第一次世界大戦とロシア革命] ・第一次世界大戦の原因や戦時下の総力戦体制の性格，戦争がもたらした世界の変化について理解する。 ・大戦中にロシアではじまった社会主義革命が起こったことを理解する。 ・第一次世界大戦が日本の政治や経済などに与えた影響について理解する。 [第一次世界大戦後の国際秩序] ・国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念に着目し，第一次世界大戦後の国際社会の枠組みが大きく変化したことを理解する。 ・アジア諸地域の民族運動の動向について理解する。 [世界恐慌とファシズムの台頭] ・世界恐慌とその対応が，ドイツのナチズムなどファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを理解する。 ・東アジアにおける国際情勢と日本の動向について理解する。 [第二次世界大戦] ・第二次世界大戦については，戦争被害の甚大さや複合的な性格，戦後の国際連合の設立や国際政治に与えた影響を理解する。

学習指導要領	葛飾総合高校 学カスタンダード
ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。 エ 地球社会への歩みと課題 1970 年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。 オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。	[冷戦のはじまり] ・米ソ両陣営の対立による冷戦の構図と、両陣営の核兵器や人工衛星の開発による緊張関係の激化について理解する。 [第三世界の台頭] ・アジア・アフリカの植民地が解放され、第三世界として国際社会において発言権を強めたことを理解する。 [1960 年代の世界] ・ヴェトナム戦争、中ソ対立による米ソ両国の指導力低下に伴い、多極化が進んだことを理解させる。 ・先進国の間に南北問題が顕在化してきたことを理解させる。 [市場経済のグローバル化] ・ドル危機や石油危機など 1970 年代の経済構造の転換について知る。 [冷戦の終結と社会主義体制の崩壊] ・冷戦の終結と社会主義体制の崩壊について知る。 [地域統合の動き] ・EU などの地域統合の進展について知る。 [地域紛争の頻発] ・世界各地で頻発している地域紛争の原因が多様であることを知る。 [地球社会の歩みと課題] ・環境や資源・エネルギーをめぐる問題など今日的課題について知る。 ・持続可能な社会の実現のためには、環境の保全、経済の開発、社会の発展をそれぞれの調和の下に進めていく必要があることを理解し、歴史的視野からそれらの問題に関する認識を深め、世界の人々が協調し、共存できる持続可能な社会の実現について展望する。